

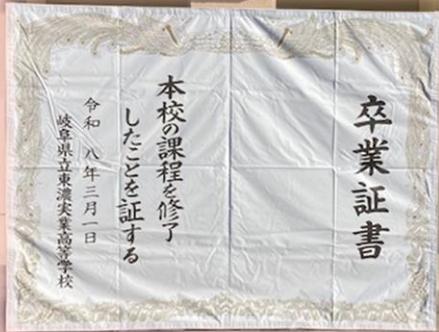


東実(PTA 広報誌)

R7 年度 No.3(第 120 号)
 2026 年 3 月
 ◆編集発行
 岐阜県立東濃実業高等学校
 PTA 文化広報委員会
 ◆責任者 PTA 会長 岡田 元

卒業証書パネル前にて記念撮影

R7 年度 卒業証書授与式
 暖かい日差しのもと
 卒業生たちは仲間や恩師
 とともに記念撮影をしまし
 た



「疾風 (しっふう)」

校長 中澤 正仁

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。特に3年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。入学当初はコロナ禍で不安もありましたが、その後は学校生活が充実しました。球技大会で仲間と汗を流し、文化祭では新しい発想のステージ発表や展示を成功させました。体育祭では場所を変えて全員が力を合わせ、最後の学習成果発表会では専門知識と技術を堂々と披露し、後輩に大きな刺激を与えてくれました。

これから皆さんは進学や就職など、それぞれの道で新たな挑戦が始まります。社会は急速に変化し、世界はますますつながっています。東実で培った経験と仲間との絆を力に、地域に根ざしながらも、国内外で活躍できる人材へと成長してください。自分の可能性を信じ、夢に向かって果敢に挑戦し、地域社会に貢献しながら、グローバルな視野で未来を切り拓く皆さんの姿を心から楽しみにしています。

そして、どんな時も校訓「勤労」「責任」「進取」「創意」を胸に、誇りをもって歩んでください。

保護者の皆様、PTA 活動や部活動振興へのご支援に心より感謝申し上げます。今後も東濃実業高校生の成長を教職員一同で支えてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

卒業生からの「ありがとう」の言葉

「これからもヨロシク」

3年1組 飯田 凜和

18年間、反抗してばかりの生意気な娘を育ててくれてありがとう。今日まで元気に、歯向かいながら生きてこられたのも支えてくれた家族のおかげです。夜、いっしょにテレビを見ながらいろいろ話につきあってくれた父。母と喧嘩したときには、冷静に仲裁役を引き受けてくれた姉。些細なことから大事なことで、どんなに言い返しても見過ごさずに叱ってくれた母。そして、私の人生に大きな影響を与えてくれた曾祖父。絶妙なバランスで私を導いてくれてありがとう。飯田家の末娘もついに高校を卒業し、名目上は、大人の仲間入りを果たします。ですが、高校を卒業したからといって途端に人が変わるわけではありません。これから新しい環境、初めてのひとり暮らしをする中で必ず迷惑や心配、時には喧嘩をすると思います。どうか、あともう少し辛抱のほど、よろしくお願いします。なるべく早く、自立をして家族が誇れる立派な大人になれるよう頑張ります。

「伝えきれない感謝」

3年2組 平井 咲花

18年間大切に育ててくれて本当にありがとう。いつも私より朝早く起きてお弁当を作ってくれた母。どこへ行く時も文句ひとつ言わず送迎してくれた父。その一つひとつが私にとって当たり前ではなく、かけがえのない愛情だったと、今になって強く感じています。わがままな私を受け止めてくれて、静かに見守り続けてくれたこと、言葉では伝えられないほど感謝しています。何気ない毎日や、ふとした瞬間のやさしさの積み重ねが今の私をつくってくれました。高校3年間を無事に終え、春からは大学生になります。大学での経験を通して大きく成長していきたいです。すぐに立派な親孝行はできないけれど、少しずつ自分にできることをしていきたいです。ここまで育ててくれて本当にありがとう。これからもよろしくお願いします。世界一大好きです!

「僕の大切な存在」

3年3組 岩田 健吾

18年間、僕を大切に育ててくれて本当にありがとう。学校や部活動の送迎、毎日のお弁当作りなど、自分も大変なのに家族のことを第一に考え僕を支えてくれた母。夜遅くまで仕事をしていて話す時間が少ない時もあるけれど、話すときはたくさん相談ののってくれる父。忙しく働き、しっかりと自立して責任をもって自分の人生を歩んでおり、色々なことを教えてくれる、とても頼れる姉。たくさん迷惑をかけてきたけれど、この家族が変わらずそばにいてくれたから、僕は安心してここまで来ることができました。特に高校では、部活動や資格取得など挑戦の連続でした。苦しいこともたくさんあったけれど、何よりも自分を応援してくれた家族の存在が大きな心の支えとなりました。普段、面と向かって言うことがないけれど、本当に感謝しています。これからは僕が恩返ししたいです。本当にありがとう。

「感謝」

3年4組 佐橋 瑠希斗

いつもありがとう。家族には本当に感謝しています。自分が今、不自由なく生活できているのは家族みんなのおかげです。自分のわがままを、たくさん聞いてもらっているし、自分のやりたいこともさせてもらっています。自分は小さい頃から野球をやっていて、朝夕の送迎、弁当作りなどたくさんの負担をかけてきました。時には強くあたることもありました。それでも、変わらず支えてくれて見守ってくれる存在でした。これまで18年間、ちゃんとした感謝を伝えていないけれど、毎日感謝しています。家族がかけてくれた言葉は、自分にとって一番のエネルギーです。これからは、自分が感謝される立場になります。少しでも感謝を返せるように頑張ります。これからもよろしくお願いします。

「そばにいてくれた2人へ」

3年5組 細江 梨央

お父さん、お母さん。この18年間、大切に育ててくれてありがとう。私はこれまでたくさん迷惑をかけてきたと思います。わがままを言ったり、反抗したり、素直になれない日もありました。それでも2人はいつも私の一番近くで支えてくれました。忙しい中でも部活動の応援に来てくれたこと。毎朝の何気ない「いってらっしゃい」の一言。その一つひとつに、どれだけの愛情が込められていたのか、今になってようやく気付きました。まだまだ未熟で、これからも心配をかけてしまうかもしれませんが、それでも私は2人の娘で本当に良かったと心から思っています。言葉にするのは照れくさいけれど、感謝の気持ちはずっと変わりません。これからは少しずつでも恩返しができるよう頑張ります。今まで本当にありがとう。そしてこれからもよろしくお願いします。

「18年間のありがとう」

3年6組 富松 紗矢

18年間優しく大切に育ててくれてありがとう。今までの18年間を振り返ると、いつも私を支えてくれた家族への感謝の気持ちでいっぱいです。小さい頃から気の弱い私は、悩んだり立ち止まったりすることが多くありました。ですが、いつも優しい言葉をかけて支えてくれる母、心配をしながらも、私の選択を尊重して応援してくれる父、温かく見守ってくれる祖父母、そんな家族のおかげで、ここまで成長することができました。高校3年間、どんなときも変わらずそばで見守ってくれた家族は、私にとって一番の支えでした。高校を卒業したこれからの道でも、迷いや不安にぶつかるとあると思います。それでも、これまで家族からもらったたくさんの優しさと思いやりがあるから、今までよりも強く進んでいけると思います。たくさんの愛をありがとう。これからもよろしくお願いします。



東実(PTA 広報誌)

R7 年度 (特別号)

2026 年 3 月

◆編集発行

岐阜県立東濃実業高等学校

PTA 文化広報委員会

◆責任者 PTA 会長 岡田 元

あずさカード受領者

美化活動、挨拶、ボランティア活動など自発的、自主的な活動をした生徒が受け取るカードです。あずさカードは本校の特色ある伝統的な活動です。仲間を思いやる「チーム東実」、自信と誇りの「東実ブランド」の気持ちを持って、これからも継承、発展させていきましょう。

(今年度 あずさカード受領者)

【1 年生】

山下 花音

小池 凜

マリアノ カサンドラ

高井 奏斗

網崎 空

藤井 晴一

小坂 誠空

【2 年生】

長谷部 慎太郎

大野 凜里花

後藤 志乃

谷山 琉香

坂本 麗帆

鏡味 結心

後藤 志乃

坂本 麗帆

林 穂乃花

【3 年生】

中島 一護

花田 蓮

板津 真絢

岡田 ちひろ

